

コミュニケーションができる人 音楽編

作編曲で育つ社会性スキル

作編曲で身につく力

作編曲はひとりで行う活動ですが、人と関わる力（社会性）が大きく育ちます。本校では、DP 音楽の考え方を取り入れながら、次の力を伸ばす授業改善を進めています。

- 自分の考えをわかりやすく伝える力
- 人の意見を聞き、作品に生かす力
- 計画的に制作を進める責任感
- さまざまな視点を理解する姿勢

ATT と ATL とは？（中学生にわかる説明で）

- ATT（指導のアプローチ） 先生が授業をどう進めるかという考え方。探究型の学びや振り返りを重視します。
- ATL（学びのスキル） 生徒が身につける力のこと。コミュニケーション、自己管理、調べる力、考える力など。

この2つを組み合わせることで、作編曲を通して社会性を育てる授業づくりを行っています。

授業で行っている取り組み

- 曲の意図を説明し、質問に答える
- クラスメイト同士でアドバイスを交換し、作品を改良する
- 作曲者・批評者・リスナーなど、いろいろな立場を体験する
- 課題応じたデモ音源を提出し、先生のコメントをもとに改良する
- 最終提出で、工夫した点や改訂内容を説明する

これらは、生徒の社会性を育てるための計画的な授業改善として実施しています。

評価の観点と証拠

- 発表での応答や、他者の意見をどう取り入れたか
- フィードバックを受けて行った変更点（制作ログ）
- 社会性スキルを振り返る自己評価・ピア評価
- スコア／デモ、解説文、改訂履歴、参考資料などの提出物

まとめ

作編曲は「音楽を作る」だけでなく、人と関わりながら学ぶ力を育てる授業です。本校では、ATT と ATL を活用しながら、生徒が音楽と社会性の両方を伸ばせるよう、授業改善を続けています。



IB DP Music 2年生 SL 編曲の時間

生徒全員の編曲の発表後、ディスカッションを経て、よりよいモチーフやコードがないか確認している様子。